



## 2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務統轄部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	7,545	4.2	273	55.1	381	41.8	196	51.2
2019年9月期第3四半期	7,874	3.2	609	14.8	654	9.4	402	18.2

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 202百万円 (42.5%) 2019年9月期第3四半期 352百万円 (6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	41.56	
2019年9月期第3四半期	85.12	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	8,332	5,714	68.6
2019年9月期	8,464	5,629	66.5

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 5,714百万円 2019年9月期 5,629百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		25.00	25.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.2	1,000	4.4	1,050	2.6	650	2.1	137.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	4,732,600 株	2019年9月期	4,732,600 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	2,503 株	2019年9月期	2,503 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	4,730,097 株	2019年9月期3Q	4,730,097 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、個人消費が落ち込み極めて厳しい状況となりました。5月半ば以降、緊急事態宣言の段階的な解除を受けて持ち直しの動きが見られますが、依然深刻な状況が続いております。

当警備業界におきましても、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント、コンサート等の中止、延期が相次ぎ、先行きも不透明な状況であることから、厳しい経営環境が続くものと予想されております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備、施設警備及び列車見張り警備の受注拡大、商材等の販売により、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,545百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益は273百万円(前年同四半期比55.1%減)、経常利益は381百万円(前年同四半期比41.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は196百万円(前年同四半期比51.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は6,669百万円(前年同四半期比0.8%減)、セグメント利益は63百万円(前年同四半期比73.5%減)となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

#### ① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、イベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は4,272百万円(前年同四半期比2.2%増)となりました。

#### ② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置付け、首都圏を中心に積極的な営業展開をしましたが、当部門の売上高は1,810百万円(前年同四半期比7.7%減)となりました。

#### ③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置付けており、当部門の売上高は408百万円(前年同四半期比7.0%増)となりました。

#### (ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び労働者派遣業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は115百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は3百万円(前年同四半期は0百万円の損失)となりました。

#### (メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。メーリングサービス事業の売上高は435百万円(前年同四半期比15.8%減)、セグメント損失は4百万円(前年同四半期は1百万円の損失)となりました。

#### (電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。今回の新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント、コンサート等の中止、延期のため、電源供給事業の売上高は325百万円(前年同四半期比36.6%減)、セグメント損失は127百万円(前年同四半期は38百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ131百万円減少し、8,332百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産が111百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が183百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ216百万円減少し、2,618百万円となりました。この主な要因は、未払消費税等が56百万円増加したものの、未払法人税等が182百万円、長期借入金が109百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ84百万円増加し、5,714百万円となりました。この主な要因は、株主に対する配当金118百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益として196百万円計上したことにより、利益剰余金が78百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は68.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント、コンサート等の中止、延期による落ち込みが見込まれておりますが、収束時期は未だ予測することができず不透明なため、通期の連結業績予想につきましては、2019年11月13日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を据え置きいたします。

引き続き業績動向を注視し、適正かつ合理的な算出が可能になった時点で、業績への重要な影響が判明した場合、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,817,979	3,858,617
受取手形及び売掛金	283,173	99,343
警備未収入金	1,157,185	990,958
仕掛品	173	73
原材料及び貯蔵品	67,850	88,286
その他	127,081	218,240
貸倒引当金	△3,306	△3,020
流動資産合計	5,450,138	5,252,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	380,519	375,183
土地	1,321,508	1,322,189
その他	196,364	312,230
有形固定資産合計	1,898,391	2,009,603
無形固定資産		
のれん	362,868	278,372
その他	29,298	27,817
無形固定資産合計	392,166	306,190
投資その他の資産		
投資有価証券	314,939	314,812
投資建物（純額）	4,088	3,630
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,703	3,703
繰延税金資産	140,772	159,287
その他	195,170	218,727
貸倒引当金	△8,739	△8,967
投資その他の資産合計	722,018	763,279
固定資産合計	3,012,577	3,079,073
繰延資産		
開業費	1,288	1,046
繰延資産合計	1,288	1,046
資産合計	8,464,004	8,332,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	160,712	145,712
未払法人税等	222,940	40,838
未払消費税等	148,435	204,831
未払費用	615,491	595,411
賞与引当金	93,071	154,552
その他	262,661	211,079
流動負債合計	2,003,312	1,852,425
固定負債		
長期借入金	483,720	374,436
退職給付に係る負債	270,298	277,596
繰延税金負債	342	—
その他	77,003	114,106
固定負債合計	831,363	766,139
負債合計	2,834,675	2,618,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	4,048,941	4,127,677
自己株式	△773	△773
株主資本合計	5,597,647	5,676,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,737	48,016
退職給付に係る調整累計額	△16,057	△10,343
その他の包括利益累計額合計	31,680	37,672
純資産合計	5,629,328	5,714,055
負債純資産合計	8,464,004	8,332,620

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,874,716	7,545,494
売上原価	5,241,280	5,130,224
売上総利益	2,633,435	2,415,270
販売費及び一般管理費	2,024,390	2,141,974
営業利益	609,045	273,296
営業外収益		
助成金収入	16,758	69,581
受取賃貸料	20,366	20,790
投資有価証券運用益	849	383
その他	15,353	25,678
営業外収益合計	53,327	116,433
営業外費用		
支払利息	5,711	5,616
その他	1,775	3,039
営業外費用合計	7,486	8,655
経常利益	654,886	381,074
特別利益		
投資有価証券売却益	106	—
固定資産売却益	38	27
特別利益合計	145	27
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	655,031	381,101
法人税、住民税及び事業税	263,056	202,505
法人税等調整額	△10,667	△18,006
法人税等合計	252,389	184,498
四半期純利益	402,642	196,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,642	196,603



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	402,642	196,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,228	278
退職給付に係る調整額	7,220	5,713
その他の包括利益合計	△50,008	5,991
四半期包括利益	352,633	202,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	352,633	202,594

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	6,725,331	118,706	517,434	513,243	7,874,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	112,950	10,681	—	608	124,240
計	6,838,281	129,388	517,434	513,851	7,998,956
セグメント利益又は損失(△)	240,268	△8	△1,909	38,813	277,163

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	277,163
セグメント間取引消去	331,881
四半期連結損益計算書の営業利益	609,045

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	6,669,703	115,298	435,320	325,173	7,545,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	83,516	8,674	—	813	93,004
計	6,753,219	123,973	435,320	325,986	7,638,499
セグメント利益又は損失(△)	63,458	3,318	△4,938	△127,644	△65,805

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△65,805
セグメント間取引消去	339,102
四半期連結損益計算書の営業利益	273,296

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内外の実体経済に大きな影響が生じております。5月半ば以降、緊急事態宣言の段階的解除を受けて持ち直しの動きがみられますが、先行きの不透明感の強まりを受け、企業の投資姿勢も慎重です。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については、イベント、コンサート等の中止、延期により大きな影響を受けており、新型コロナウイルス感染症の収束時期はいまだに予測することができませんが、連結業績に与える影響は限定的であると見込んでおります。このような前提を基礎として、会計上の見積りを行っております。

また、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、さらに当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。